

“Heart to Heart”

心から心へ わかちあう あたたかさ

第18巻 第2号 (No.54)

発行日 2023年12月1日

目次:

心理的な安全・安心が保たれた環境	1
療育プログラムのようす	2・3
コラム： コミュニケーションの不思議	4
ファミリーデー	4
教育センターからのご案内	4

心理的な安全・安心が保たれた環境

武蔵野東教育センター所長 計野浩一郎

文部科学省の掲げる「主体的・対話的で深い学び」などの実現に必要なことは、「授業の改善」以前に、子どもたちの心理的安全・安心が保たれた環境づくりであり、子ども同士の関係の質の向上です。そして温かなまどまりの中で互いの意欲を引き出し合えるような環境を作っていくことが優先されなければなりません。

その環境を整えた上で、教育や支援に携わる私たちは「子どもたちの知性的・感情的な成熟を支援できる人」であり、「子どもが持っている学ぶ力、それを信頼して引き出してあげる役割」であると常に心に刻みながら日々の教育に取り組んでいく必要があります。とかく今の教育は、“先生のペースで理解できる子”が優秀な子で、それについてこれなかったら“落ちこぼれ”というレッテルを貼ったり、逆にもっと進んだ子に授業をつまらないと感じさせてしまったりすることが起こりがちです。そのことが「与えられないと学習ができない、自ら学ぶことのできない子どもたち」を生み出してきた教育の現実を直視して、個に応じた教育や支援の在り方を今以上に工夫していかなければならないと思っています。

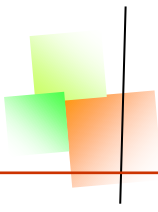
一方、親が注力して整えるべきことは、心理的な安全・安心と規則正しい家庭生活の環境です。子どもに早寝早起きの習慣づけをさせて、まずは「からだの脳」(間脳・脳幹)をしっかり育てていく。次に、知的活動や言葉を中心にしたさまざまなコミュニケーションを通じて、「知性の脳」(大脳新皮質)と「こころの脳」(前頭葉と間脳・脳幹をつなげる神経回路)を育てていく。それが子どもの脳を育てる

ということです。

例えば「テストで100点を取る=ほしい物を買ってもらえる」というルールを決めてしまうと、子どもは「ほしい物を買ってもらう」だけのために、勉強をするようになってしまいます。前頭葉の最も大切な機能である「見えないもの」を報酬と考えて「頑張る」という機能の発達を阻害するだけです。また、家の中での仕事に「おだちん」をあげることも、報酬目的でやるようになってしまいます。成長するにつれて、家族の1人として家の中で役割を持つことは当然のことです。お使いも、洗濯も、掃除も、子どもに任せるときには「お手伝い」としてではなく、家の「役割分担」として任せるように心がけることが大切です。たとえば、「○○を作りたいと思っているけど、△△がないんだよね。あなたがもし今晚○○を食べたいなら買ってきてくれない？」などと、子どもの意思で、その「仕事」をやるかどうかを選ばせることが大切です。子どもが買ってきてくれたら、「ありがとう！これで○○ができるね」と感謝の気持ちを伝えましょう。親が子どもを認めることによって、子どもは家庭の中での役割を自覚し、「自分はこの家になくってはならない存在だ」と自己肯定感を高めます。

もうすぐ冬休みです。年末年始を迎えて慌ただしい生活になりがちです。年中行事を楽しみながら、ユーモアのある生活を心掛けていってください。ユーモアにあふれる家庭は心理的安全性をもたらし、信頼関係を築き、子どものやる気を高め、創造性を育むことができると言われています。1月にお会いできることを楽しみにしています。





療育プログラムのようす 【各教室・言語プログラム】

リズム教室 バランス感覚を育む目的で、色々な場所でくま歩きをする遊びをしています。タイヤや運動棒、小さなバランスクッションの上では、同じくま歩きでも手や足の使い方が異なります。この経験をするこ



グラグラした上もくま歩き！

コンピュータ教室 路線検索サイトを利用して、経路や料金の情報を収集する練習をしています。あらかじめ与えられた区間を入力し、かかる時間や運賃、乗換駅を検索してシートにまとめていきます。運賃は現金かICか、どの経路を利用した方が便利かなど複数の情報から必要な情報を得るための練習となっています。家族で出かけるときなどに活用していただくと嬉しいです。(草島)



経路や料金を調べよう

SST教室 3・4年生のSST教室では、子どもたちが相談をしてレクリエーションの時間に何をするか決めていきます。最近、人気がある活動はティーボールです。ボールを打つ人、取る人、投げる人などと役割を決めることにより、協力してゲームを進めることができます。また、教室の中では「どっちがすき？」というゲームを行っています。自分と好きなものが似ている友だちを見つけると、みんなとても嬉しそうにしています。(宮下)



さあ、打つぞ！！

音楽教室 子どもたちは、バロックから近代までのクラシックに関する鑑賞を一通り終え、ジャズの鑑賞を楽しんでいます。ジャズはニューオリンズ発祥と言われていますが、草創期の録音物はあまり残っていません。レイ・アームストロングなど初期の限られた音源を聴きながら、後代の音楽にも大きな影響を及ぼすことになる当時の音楽家たちの演奏と情熱に思いを馳せています。(平瀬戸)



音楽大好き！

キッズアート教室 絵の具で色あそびを楽しみました。パレットに絵の具を絞り出し、スポイトで水を数滴落とし、筆で混ぜていくとクレヨンとは一味違った赤色と黄色ができました。落ち葉のモチーフに着彩すると素敵なイチョウとかえ



あか+きいろはおれんじだよ！

での葉に。最後は絵の具の足し算(混色)に挑戦。「あか+きいろ=」と2色を混ぜ、できあがった色を着彩しました。次は何色を作ろうかな。(本田)

体育教室 高学年は鉄棒の課題に取り組んでいます。腕に力を入れて体を支えること、体を丸めて回転することなどが活動のねらいです。つばめ支持や前回り下りといった練習を行うことで、腹筋や腕力、握力などを鍛えることができます。また、前回りや足抜き回りなどの回転動作は、平衡感覚、逆さ感覚、遠心力や速度に対応した全身のバランスを高める効果があるとされています。(菊池)



豚の丸焼きチャレンジ

ダンス教室 手具を持って踊る課題として、今年は鳴子に挑戦しています。鳴子は、木の板に木片を付けて音が出るようにした防鳥用の農具を楽器にしたものです。初めは音を鳴らすのが難しく、苦戦していましたが、曲に乗って先生と同じように、また自由に踊って楽しんでいます。「元気よさ」を表現できるように、そして友達と音を合せて踊れるよう練習を重ねていきます。(益田)



かっこよく決めポーズ！

言語プログラム 会話の中で、相手に質問をすることが苦手な子ども向けに、どんな質問をするか考える課題を行っています。まずは、架空の人物のイラストとプロフィールを見て、その人のことをよく知るための質問を考える練習をします。できるようになってきたら、先生を相手に質問をします。先生との会話を楽しみながら、質問する力を伸ばすことができます。(佐野)



何を作っているのかな？



【スクールプログラム・ラーニングプログラムの様子】

幼児 クリスマスをテーマに活動しています。製作の時間には好きな色を選んだりパーツのレイアウトを考えたりと張り切って取り組み、とても素敵な飾りができました。音楽の時間では「あわてんぼうのサンタクロース」や「トナカイのクリスマス」などクリスマスの曲に合わせて楽器を演奏しながら、クリスマスを心待ちにしています。(野添)

1年生 算数で、「ながさくらべ」の学習をしています。リボンといろいろなものの長さを比べたり、ものの長さが消しゴムやマス目何個分の長さかを数えて、数の大小で長さを比べたりしました。学習の後には、自分の筆箱の中身を出して、「この鉛筆がいちばん長い！」などと言う様子があり、授業外でもながさくらべを楽しんでいました。(本村)

2年生 音階を動作で表す「ハンドサイン」を楽しんでいます。初めは音階ごとのサインを模倣する練習からはじめましたが、示された音階を見たり聞いたりするだけで動きを作れるようになってきました。11月からは「こぎつね」の曲に挑戦しています。音階を口ずさみ、リズムに合わせながら教室の中で一体感が生まれる楽しい時間になっています。(壹岐)



季節を感じて「秋」



よーいドン！



洋菓子かな？和菓子かな？

6年生 体育でバスケットボールに取り組んでいます。体を使ったボール回し、その場でのドリブル、コーンを立てて八の字ドリブルなど、基本的な動作はこれまでの積み重ねもあり、自信を持って上手にできています。友だちとのワンバウンドパスでは、相手を取りやすいパスを出すために、相手をよく見てちょうどよい位置でバウンドするようなパスを出す練習をしています。(草島)

中学生 数学で「平面図形」と「空間図形」の学習をしています。図形の名称、展開図、見取り図、回転体、投影図など、個々の習熟度に合わせた学習を行うようにしています。図形をプリントのような平面上で見るだけでなく、頭の中で想像したり、回転させたりなど立体的にイメージすることができるよう、段階を追いながら学習しています。(藤本)

ラーニングプログラム 子どもごとの特性を踏まえた、多角的なアプローチを行っています。ひらがなの学習を例にとっても、特性ごとに開発された学習プリント、文字や絵カード、ICTの活用など、あらゆる手段で学びを支援しています。「苦手だから」で終わることなく、「こうすればできる」を考え、家庭支援にも繋がるよう教材作りや提供の仕方を工夫しています。(柳澤)



クリスマスリースをつくろう！



マス目何個分か、分かったぞ！



曲に合わせてハンドサイン！

3年生 図工では、季節に応じたさまざまな作品を作っています。粘土、はさみ、のり、水彩色鉛筆、絵の具などいろいろなものを使って手指の巧緻性や目と手の協応動作を高めていくことができます。先日はガーゼや脱脂綿を使って『樹』を作りました。立体感のあるすてきな作品に仕上がりに、子どもたちも喜んでいました。(宮下)

4年生 体育で、円盤を使った運動に取り組んでいます。腹ばいになって手でこいで進む、座って足で歩くようにして進むなど、楽しく体を動かしながら体幹を鍛える活動となっています。体幹を鍛えることによって、正しい姿勢を保持したまま学習に取り組めるようになることが期待できます。(柳澤)

5年生 国語の「和の文化を受けつぐ」という単元で、お菓子の歴史と日本の伝統的文化との関わりについて学習しました。洋菓子と和菓子の違いを知る課題では、「お菓子クイズ」と題して楽しく学びました。皆がおやつに食べるチョコレートはどっちだろうと問いかけると、「洋菓子！」と元気よく答えていました。(鳥塚)



いっくよ〜♪



三角すいの見取り図、作成中



色々なやり方で！



コラム 自閉症研究からの学び(1)

コミュニケーションの不思議

三浦 優生(愛媛大学教育・学生支援機構准教授)

私はこれまで、武蔵野東学園の皆さんにご協力を得て実施している夏の調査において、自閉スペクトラム(ASD)のコミュニケーションにかんする研究を行ってきました。こうしてお声をお届けする機会をいただき嬉しく思います。初回は、研究からは少し話題が逸れますが、夏の調査に加わって間もないころの私自身のエピソードをお話したいと思います。

2010年の春、大学院生活を終える時期にあった私は、県外の大学での就職にともなう転居費用を調達すべく、ホテルの宴会場でお給仕をする単発のアルバイトに挑戦しました。配膳のお仕事は全くの未経験であった私が、ろくな研修もないまま現場に放たれたものですから、派遣人材としてはまともに機能せず

右往左往していたように記憶しています。

宴も中盤で忙しさがピークに達した頃、食器を下げに調理場に戻った私に、シェフが矢継ぎ早に「それ、お願い！」と声をかけました。指示が理解できない私は「それ」が意味する対象は何か、「お願い」されている事項は何かを特定すべく、目に付いたティーポットや、台車、カトラリーを指しては、「違う！」と怒鳴られ、5つ目の候補を外したところで、ついにお役御免となってしまったのでした。なぜ分からないのか…と呆れたシェフの顔を今でも思い出ことができます。

ASDの言語発達について研究をして気付いたのは、いかに非ASD者のやりとりが、曖昧であやふ

やなものであるか、という事実です。ヒト以外にも、多くの語彙や複雑な文法を備えた言語を持つ動物は存在します。しかし上の例のように、ひとつの記号が、文脈次第で全く異なる意味を伝達するような言語体系を持つ生き物は、我々だけであろうと思われま



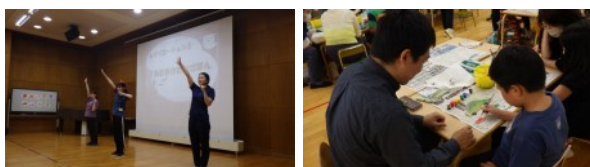
ASDの当事者の方々は、もしかしたら私が経験したような葛藤を、日々抱えているのかもしれませんが。一見非効率な人間のコミュニケーションをどのように乗り切り、ときには楽しさを見出すか、その一助となるような成果を還元していきたいと考えながら、日々研究を進めています。

このコラムは4回シリーズでお届けします。



ファミリーデー2023

10月21日(土)にファミリーデーを開催しました。ファミリーデーは、教育センターに通われているご家族同士や親子間の交流を深めるためのイベントです。今回はキットを使った工作や、身体を動かすレクリエーションを行いました。帰りには家族みんなで記念撮影をしたり、作品を友だち同士で見せ合ったりと、楽しく交流を深めることができました。



武蔵野東教育センター

〒180-0012 武蔵野市緑町2-1-10

電話 0422-53-8585 FAX 0422-53-8595

Email: education-center@musashino-higashi.org

ホームページをご覧ください

<https://www.musashino-higashi.org>



2024年度療育プログラム申し込み

2024年度療育プログラムの一次募集を行っています。受講希望の方はウェブサイトのフォームまたは申込用紙で2023年12月6日(水)までにお申し込みください。その後はまだ空きのあるプログラムの二次募集を実施します。ご相談や見学も承っておりますので、お気軽にご連絡ください。